SONY

2-190-358-**05** (2)

TV(1-12ch)・FMステレオ/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください

SRF-M97V

　Printed in China

品　名　ラジオ
型　名　SRF-M97V
保証書　T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- 安定した受信のできる、PLLシンセサイザー採用のTV/FM/AMラジオ
- TV/FM/AM各7局で、21局のプリセットが可能
- 片手で簡単操作のジョグレバー搭載
- MEGA BASS回路採用で迫力のある重低音
- 自動的に電源が切れるパワーオートオフ機能（30/60/90/120分/解除の設定が可能）
- 便利なクリップ付き

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
  - 温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所(0℃以下)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多い所。
  - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- 常によい音でお聞きいただくためにステレオイヤーレシーバーのプラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- ステレオイヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、お近くのソニーサービス窓口に相談してください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 防滴機構になっていませんので雨や雪、水しぶきのかかるところでは充分にご注意ください。

ステレオイヤーレシーバー（両耳用）で聞くときのご注意

付属のステレオイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう一度チェックしてみてください。

雑音が多く、音が悪い
- ➜乾電池が消耗している
- ➜電波が弱い
  建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。

表示窓の文字や記号が薄くて見えない
- ➜乾電池が消耗している
- ➜極端に暑い場所や寒い所で使っている

プリセット選局しても、聞きたい放送局が受信できない
- ➜間違ったプリセット番号を選んでいる
- ➜プリセットした記憶が消えている
  もう一度、プリセット番号に局を記憶させてください。
- ➜地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

表示窓に「 」が点滅し、音が出ない。
- ➜乾電池が消耗している

修理内容により、プリセット選局で記憶させた放送局が消えてしまう場合があります。重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。

主な仕様

時計表示　12時間表示

周波数範囲

バンド	周波数範囲	周波数ステップ
TV*1	1-12チャンネル	1ch
FM	76～108 MHz	0.1 MHz
AM	531～1,710 kHz 530～1,710 kHz	9 kHz 10 kHz

出力端子　Ω（ステレオイヤーレシーバー）端子（φ3.5 mmステレオミニジャック）1個
実用最大出力　5 mW + 5 mW（JEITA*2）
電源　DC 1.5 V、単4形乾電池1個
パワーオートオフ機能　約30分、60分、90分、120分、解除の5段階
最大外形寸法　約36.5×84.6×17 mm（突起部含まず）
約37.4×84.6×21.6 mm（突起部含む）
（幅/高さ/奥行）（JEITA*2）
質量　約58.5 g（乾電池、ステレオイヤーレシーバー含む）

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。
*2 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ステレオイヤーレシーバー（1）
ソニー単4形(R03)乾電池（1）（お試し用*）
取扱説明書・保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

*付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

主なはんだ付けに無鉛はんだを使用。
主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を不使用。
イヤーレシーバーコードに塩ビ不使用。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………**0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口
フリーダイヤル……………**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2531**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

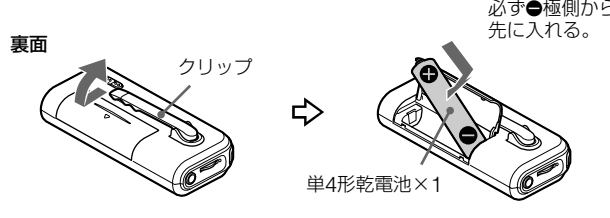
左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

▶準備する

乾電池を入れる

裏面
クリップ
必ず⊖極側から先に入れる。
単4形乾電池×1

1 **電池入れのふたを開け、単4形乾電池1本を⊕と⊖の向きを正しく入れる。**
初めて乾電池を入れたときは、「AM12：00」が点滅します。時計を合わせると点滅は止まります。

2 **ふたを閉める。**

乾電池の持続時間　(JEITA*)

	TV	FM	AM
ソニー単4形(LR03)アルカリ乾電池	約37時間	約40時間	約65時間
ソニー単4形(R03)マンガン乾電池	約13時間	約16時間	約30時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

ご使用中、電池の残量を表示窓でお知らせします。

残量表示

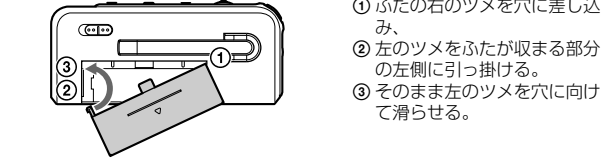
残量は充分です。
↓
残量が少なくなってきました。
↓
電池が消耗しています。乾電池を新しいものと交換してください。電池交換後、POWERボタンを押すと、残量表示は「 」に変わります。
電池の残量がなくなると、「ピーッ」と鳴り、電源が切れます。

ご注意
交換するときは、3分以内に入れ換えてください。3分以上経過すると、現在時刻やプリセット選局で記憶させた放送局が消えてしまいます。そのときはもう一度設定し直してください。

パワーオートオフ機能について

ラジオの電源の消し忘れによる乾電池のむだな消耗を防ぐため、90分たつと自動的に電源が切れるようになっています。電源が切れるまでの時間は変更できます（「電源が切れるまでの時間を設定/解除する」参照）。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、下図の番号に従って取り付けてください。

① ふたの右のツメを穴に差し込み、
② 左のツメをふたが収まる部分の左側に引っ掛ける。
③ そのまま左のツメを穴に向けて滑らせる。

裏へつづく

各部のなまえ

●MODEボタンのはたらき

電源を入れているとき：	選局モードの切り換え マニュアル時、「P」表示なし プリセット時、「P」と番号表示あり
プリセット選局で受信中：	記憶させた局の削除
電源を切っているとき：	パワーオートオフの設定変更

ジョグレバーの使いかた

ジョグレバー中央の凸部を「上下に動かす／動かしたままにする／押す／押しつづける」、以上4種類の操作があります。

●上下に動かす／動かしたままにする

指を離すと、凸部は元の位置に戻ります。

●押す／押しつづける

凸部が中央にあるときのみ、押すことができます。

時計を合わせる

1 POWERボタンを押して、電源を切る。

2 ジョグレバーを2秒以上、時計の表示の「時」が点滅をはじめるまで押しつづける。

3 ジョグレバーを上下に動かして時を合わせ、ジョグレバーを押す。
ジョグレバーを動かしたままにすると、数字が早送りされます。
AMは午前、PMは午後です。
AM12:00＝真夜中、PM12:00＝正午。

4 ジョグレバーを上下に動かす、または動かしたままにして分を合わせ、ジョグレバーを押す。
表示窓の「：」が点滅を始め、時計が動き出します。
分を合わせたあと、時報（117番など）と同時にジョグレバーを押すと、より正確な時刻が設定できます。
設定を途中でやめたいときは、MODEボタンを押します。

ご注意

時計合わせをはじめてから、約65秒以上操作を行わないと、自動的に設定に入る前の状態に戻ります。

電源が切れるまでの時間を設定／解除する

—パワーオートオフ機能

自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。お買い上げ時は、「90分」に設定されています。

1 POWERボタンを押して、電源を切る。

2 MODEボタンを2秒以上、「AUTO OFF」と時間が点滅表示されるまで押しつづける。

3 ジョグレバーを上下に動かして設定したい時間を選び、ジョグレバーを押す。
ジョグレバーを動かすと設定時間が次のように変わります。

パワーオートオフ機能を解除したいときは「OFF」を選びます。「AUTO OFF」の表示が消えます。

誤操作を防ぐ—ホールド機能

HOLDスイッチを矢印の方向に動かし、表示窓に「○━」を点灯させます。すべてのボタン操作を受け付けなくなります。
不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

▶ラジオを聞く

海外でAM放送を聞く

受信する周波数ステップ（間隔）を、お使いになる国に合わせて切り換える必要があります。
工場出荷時、このラジオは9 kHzに設定されています。

地域	周波数ステップ
北米・南米の国々/地域	10 kHz
日本国内・その他の国々/地域	9 kHz

ご注意

- 周波数ステップを切り換えると、プリセット番号に記憶しておいた放送局が消えます。時計表示は切り換えても変わりません。
- AMの周波数ステップを「10kHz」に切り換えると、日本国内（9kHzステップ地域）でのAM放送の受信はできません。

1 POWERボタンを押して、電源を切る。

2 ジョグレバーを上または下に動かしたまま、POWERボタンを約5秒以上押したままにする。
「ピピッ」という音がして、周波数ステップが切り換わります。表示窓に「10kHz」または「9kHz」の表示が3秒間点滅します。
元の周波数ステップに戻すには、手順2をもう一度行ってください。

周波数を選んで聞く

—マニュアル選局

1 端子にステレオイヤーレシーバーをつなぐ。

2 POWERボタンを押して、電源を入れる。
表示窓に「○━」が表示されている場合は、HOLD スイッチを動かしてホールド機能を解除してください。

3 MODEボタンを押して、「P」表示を消す。
マニュアル選局時は「P」表示なしです。

4 ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。

5 ジョグレバーを上下に動かして、聞きたい放送局に合わせる。
ジョグレバーを1回動かすごとに周波数が変わります（TVでは1チャンネル、FMでは0.1 MHz、AMでは9 kHzまたは10 kHzずつ）。
ジョグレバーを上または下にしたままにすると、周波数が早送りされます。
放送局の周波数が合うと、放送が聞こえます。

6 VOLつまみを回して、音量を調節する。

受信状態を良くする

TV/FM 放送の場合

ステレオイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

AM放送の場合

AMアンテナを内蔵しているので、ラジオ本体の向きを変えて、最も良く受信できる方向にしてお聞きください。

FMステレオ放送を聞くときは

FMステレオ放送を聞くときは本体裏面のFMスイッチをSTEREOにしておきます。雑音が気になるときはMONO（モノラル）にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

ープリセット選局

TV、FM、AM各7局まで登録すること（プリセット）ができます。プリセットをしておくと、プリセット番号（1〜7）を選ぶだけで、受信できます。
工場出荷時は、すべてのプリセット番号に登録がされています。不要な放送局は削除するか、放送局を登録しなおしてお使いください。

放送局を登録／変更する

1 「周波数を選んで聞く」の手順1から6を行い、登録したい放送局を受信する。

2 ジョグレバーをプリセット番号が点滅するまで押しつづける。

すべてのプリセット番号に放送局が登録されているときは（工場出荷時はこの状態）、「1」が点滅し、同時に「P」が表示されます。放送局が登録されていない番号があるときは、その番号のみが点滅し、「P」は表示されません。
操作しないまま、約65秒以上経過すると点滅が止まり、手順2を行う前の状態に戻ります。

3 ジョグレバーを上下に動かして登録したいプリセット番号（1〜7）を選び、ジョグレバーを押す。
放送局が登録されている（「P」が一緒に表示される）番号を選んでジョグレバーを押すと、登録されていた放送局は消え、受信している放送局が登録されます。
例）FMのプリセット番号「1」に90.0MHzを登録したときの表示。
番号の点滅が止まります。
登録を途中でやめたいときは、MODEボタンを押します。

登録した局を聞く

1 POWERボタンを押して電源を入れる。
表示窓に「○━」が表示されている場合は、ホールド機能を解除してください。

2 MODEボタンを押して、「P」を表示させる。

3 ジョグレバーを押してバンドを選ぶ。

4 ジョグレバーを上下に動かして、聞きたい局を登録したプリセット番号を選ぶ。
放送局が登録されているプリセット番号のみ表示されます。

5 VOLつまみを回して、音量を調節する。

登録した局を削除する

1 「登録した局を聞く」の手順3までを行う。

2 ジョグレバーを上下に動かして、削除したい放送局を登録したプリセット番号を選ぶ。

3 MODEボタンを3秒以上、「P」、「dEL」とプリセット番号が点滅するまで押しつづける。

4 点滅中にジョグレバーを押す。
登録が削除され、そのプリセット番号は空になります。受信中の放送局は、1つ前のプリセット番号（入っていなければ、さらに前）に登録されている局に変わります。
ジョグレバーを押さないまま約65秒以上経過すると、手順3を行う前の状態に戻ります。
途中でやめたいときは、 MODEボタンを押します。

低音を強調する

MEGABASS（低音増強）スイッチをONにします。
低音を強調しないときにはOFFにします。音がひずんだように聞こえる場合はOFFにします。